

Vネットフェンス門扉 VH-G型 (FF-G型) (XF-G型)

組立説明書

① 柱の位置を決め、基礎を設置します

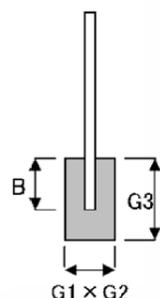
● 柱間隔は表の通りです。

	H					
	900	1000	1200	1500	1800	2000
片開	1040(1010) mm					
両開	2000 mm					

()内は九州・中国地区の標準寸法です

● 基礎寸法および門柱埋込み深さ

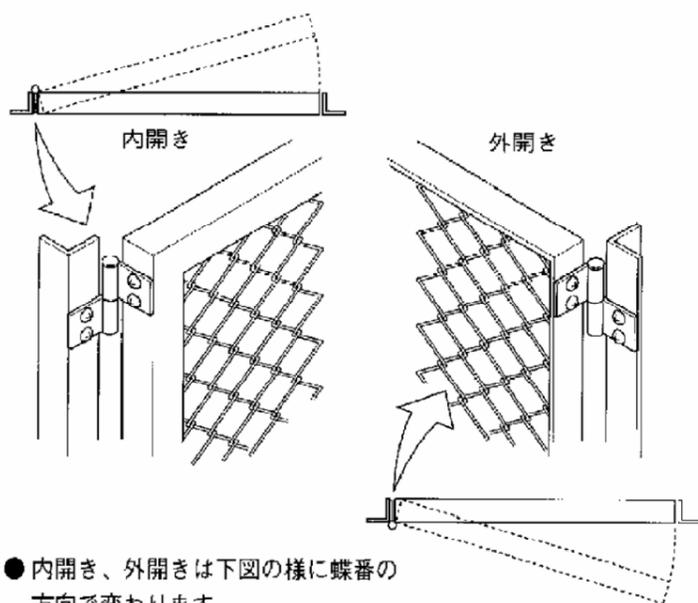
高さ	基礎寸法	埋め込み深さ
	G1×G2×G3(mm)	B(mm)
H900	250×250×500	205
H1000	250×250×500	205
H1200	250×250×500	205
H1500	300×300×600	255
H1800	300×300×600	255
H2000	300×300×600	255



② 柱を建てます

③ 門扉の開閉方向 (外開き、内開き) を決めます。

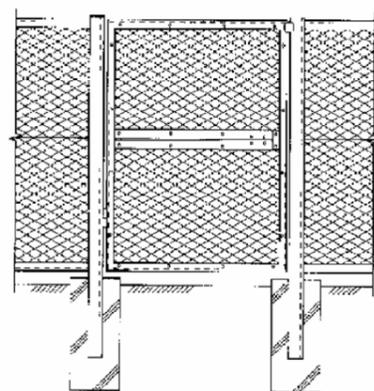
- 片開きの場合は蝶番を付ける柱 (吊り柱) を決めます。
- 両開きの場合は両方の柱が吊り柱になります。
- 扉は上下の区別はありません。



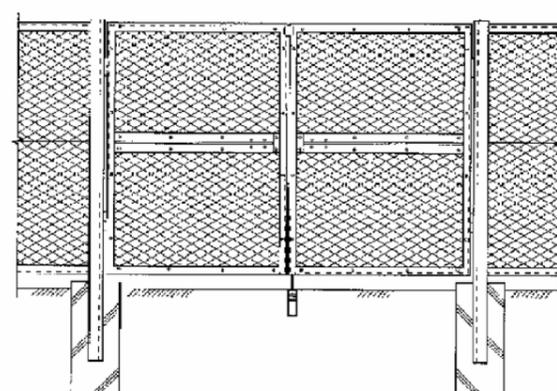
● 内開き、外開きは下図の様に蝶番の方向が変わります。

VH-G型 姿図

片開門扉

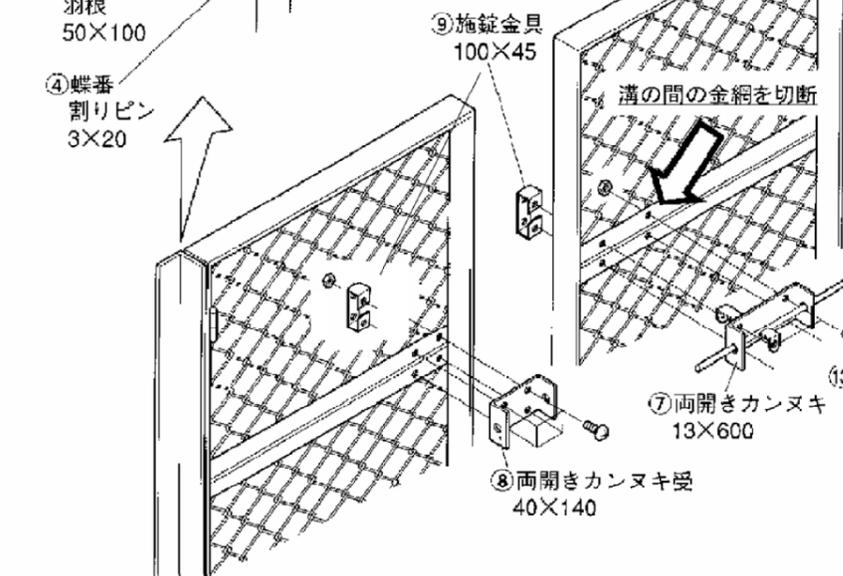
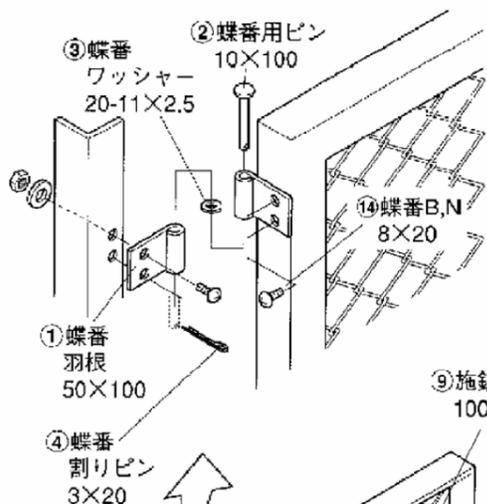


両開門扉



④ 扉を柱に取付けます

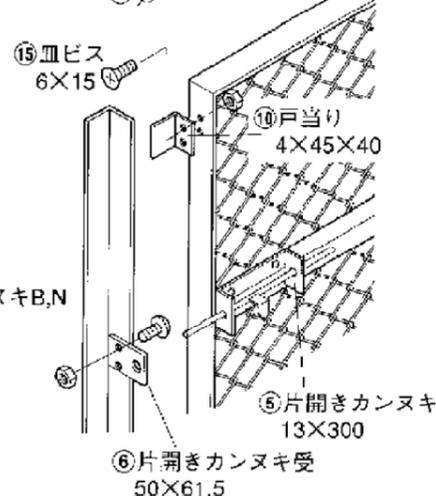
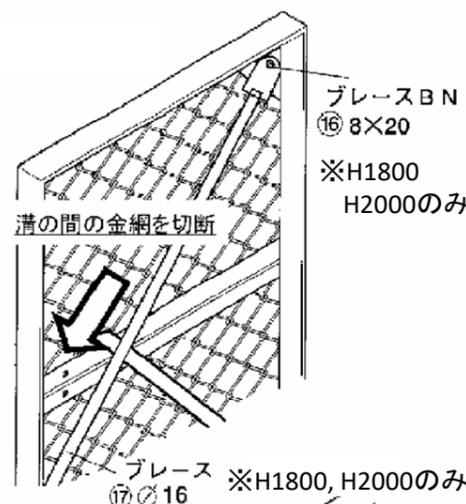
● 柱と扉に蝶番を取付けます。



両開き

⑤ カンヌキと施錠金具を取付けます

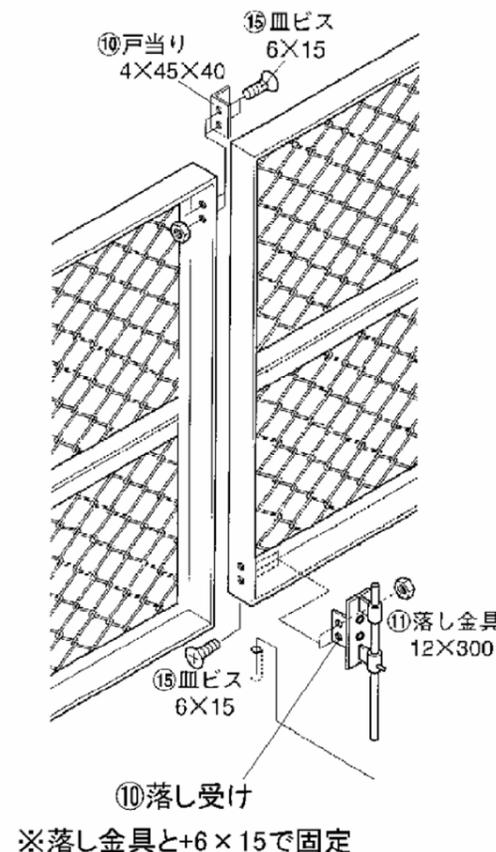
【注意】
カンヌキを取付ける際、扉本体のカンヌキがスライドする溝の金網を切断して下さい。



片開き

⑥ 戸当りと落とし金具を取付けます

● 落とし金具は、両開きの場合に取付けます。

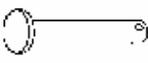
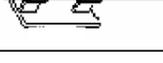
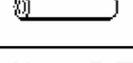


作業上の注意点

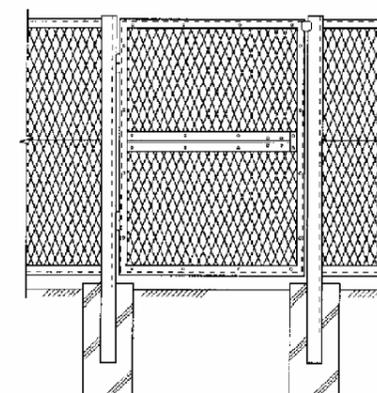
● 工事施工後門柱に取付けているビニール袋入りの「警告、注意シール」を門扉に貼り付けてください。貼り付け位置は「使用上のご注意」に表示しています。また「使用上のご注意」は門扉の管理者にお渡しください。

部品数量表

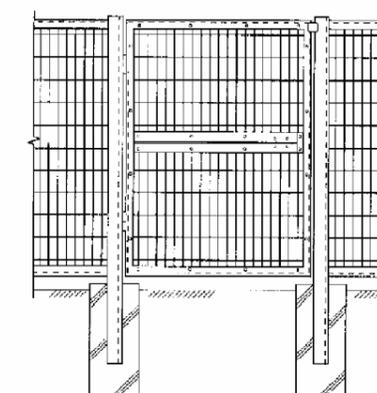
Vネットフェンス門扉 VH-G型 (FF-G型) (XF-G型)

品名	寸法・記号	形状	数量	
			片開門扉	両開門扉
① 蝶番	50-100		4	8
② 蝶番ピン	10×110		2	4
③ 蝶番ワッシャー	20-11×2.5		2	4
④ 蝶番割りピン	3×20		2	4
⑤ 片開カンヌキ	13×300		1	-
⑥ 片開カンヌキ受け	50×61.5		1	-
⑦ 両開カンヌキ	13×600		-	1
⑧ 両開カンヌキ受け	40×140		-	1
⑨ 施錠金具	100×45		1	2
⑩ 戸当り・落とし受け	4×45×40		1	1
⑪ 落とし金具	12×300		-	1
⑫ 埋込パイプ	19×50		-	1
⑬ カンヌキB.N	8×20(SW付)		10	16
⑭ 蝶番B.N	8×20(SW付)		8	16
⑮ 皿ビス	+6×15(SW付)		2	6
⑯ プレースB.N (H180,H200のみ)	+8×20		4	8

門扉用部品



XF-G型



FF-G型



注意

●施工注意点

- ①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
- ②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より30mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がったり埋まったりしないようにしてください。
- ③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
- ④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
- ⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

●取扱い注意点

- ①門扉施工完了後、工事店の方がお渡しする「使用上のご注意」に記載された事項を使用者に徹底するようお願いいたします。

JFE 建材 株式会社